

堂谷津の里 自然だより

2017年 9月

2017. 9. 1

今夏は雨が少なく、田んぼの水が涸れてしまいましたが、それでも稲は元気に生育、刈り取りが始まりました。林縁では、キンミズヒキ、ツリガネニンジン、ヤマホトトギスなどの野草が咲き始め、秋の装いを見せています。実りの秋、色とりどりの秋、・・・の秋、さわやかな秋空を待ちわびる今日この頃です。



アキアカネ



アカトンボのなかま

マユタテアカネ



オニヤンマ産卵



ナガコガネグモ



ナツアカネ



ノシメトンボ



コバネイナゴ



タマゴダケ(昨年)



センニンソウ



ヤマハギ



アキカラマツ



クズの花



ツリガネニンジン



ミゾソバ



タコノアシ



ヤマホトトギス

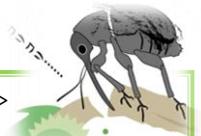


ノダケ



ヤブラン

<季節メモ>



ハイロチョッキリの すごい技!

9月初めごろ、コナラやクヌギの木の下にドングリがついた小枝がたくさん落ちています。「昨夜、風が強かったかな?」いいえ、それは「ハイロチョッキリ」という虫のしわざです。ドングリに産卵した後、枝を切り落とすのです。よく見ると、切り口がきれいに切断され、ドングリに針であけたような穴があります。穴の中には、小さな卵が産みつけられています。

写真・編集：晝間